

倉敷市(岡山県)の一体的実施① 平成23年10月3日事業開始

市が生活・就労相談で得た求職者の「求職ニーズ」や倉敷市勤労者福祉サービスセンターが得た事業所の「求人ニーズ」を活かして、「ワークプラザたましま」においてハローワークが地域の実情に即した求人開拓、職業紹介を実施

市

国

生活相談の実施、
事業所への訪問・支援等



事業主と面談する就職支援ナビゲーター

求人開拓、職業紹介の
実施等

① 事業内容

- ・市は、生活・就労相談を実施
- ・倉敷市勤労者福祉サービスセンターは、事業所を訪問して各種支援を実施
- ・相談・支援で得た求職者のニーズや事業所のニーズをもとに、ハローワークが求人開拓や職業紹介を実施

② 協定・事業計画

- ・倉敷市長、センター理事長及びハローワーク倉敷中央所長の協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を倉敷市とハローワーク倉敷中央の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。

③ 運営協議会

- ・倉敷市、センター及びハローワーク倉敷中央で構成する運営協議会を設置。

市が収集した「求職ニーズ」や「求人ニーズ」を基に、ハローワークが求人開拓や職業紹介を実施することで、地域の実情に応じたきめ細やかな支援が実現

(1) 実施体制

市

- ・ 住居・生活支援相談員1名を配置
- ・ 地区担当推進員1名(倉敷市勤労者福祉サービスセンター)を配置

国

- ・ 職業相談員4名、就職支援ナビゲーター2名を配置
- ・ 求人情報提供端末8台、職員紹介端末3台を配置

(2) 事業目標と取組状況

	28年度事業目標	取組状況(29年3月末時点)
求職者への 職業紹介	◇就職件数 650件	◇就職件数 747件
	(参考)27年度目標(27年4月～28年3月) ◇就職件数 630件	(参考)27年度実績(27年4月～28年3月) ◇紹介件数 計 2,193件 ◇就職件数 計 763件
求人開拓	◇開拓求人数 1,200人	◇開拓求人数 1,515人
	(参考)27年度目標(27年4月～28年3月) ◇開拓求人数 1,200人	(参考)27年度実績(27年4月～28年3月) ◇開拓求人件数 計 800件 ◇開拓求人数 計 1,296人

※ 平成23年度は、「ワークプラザたましま」を拠点とした求人開拓機能について、一体的実施事業として事業目標を設定して実施
平成24年度からは、職業紹介等も含めた「ワークプラザたましま」での職業紹介を含む事業全体を一体的実施事業として位置づけ、事業目標を設定して実施

一体的実施事業による就職成功例

女性：20歳代 希望職種：軽作業
生活保護受給者 玉島福祉事務所から就労支援対象者として支援要請

① 抱える課題

- 高校卒業後に、アルバイト等非正規雇用での就業経験が1年半程度。出産のために退職後、7年近くブランクのある母子家庭の生活保護受給者。長期間失業状態にあること、子供が1歳児を含め6人いることから、求人者から敬遠される。

② 支援内容・ポイント・経過

- 就労意欲は十分にあるものの、本人の育児能力に不安が見られることから、保健師・就労支援員等とも連携を図り、適宜連絡を取りながら支援を開始。
- 定期相談に際しては、常に日頃の生活状況を聴取し、育児に支障のでない範囲でのパート求人を選定の上、本人の反応を確認しつつ情報提供を続ける。
- 求人開拓のために訪問した自動車用ゴム製品製造会社の作業内容、事業所の雰囲気、企業方針等について本人に伝えたところ、本人が強い興味を示したため、職場見学をセットして面接を依頼する。

③ 結果

- 面接前に、就職支援ナビゲーターが事業所訪問し、支援対象者の状況について説明するとともに、特定就職困難者雇用開発助成金制度の概要説明を行う。特に育児等については、近隣に居住する姉のサポートがあること、まじめな性格で就労意欲が極めて高いことをアピールする。
職場見学後において、本人が是非働きたいと強い意思表示もあり、採用の返事を頂くことになる。

○ ハローワーク担当者の所感

- 保健師・母子自立支援員・就労支援員との連携により、支援対象者の生活の状況などを詳細に把握した上で、支援対象者の状況に応じた就職支援を行うことができた。
- 人事担当者からは、本人の「働きたい」という気持ちが伝わってきたとのコメントをいただいた。